

平成30年度入試【推薦入試Ⅰ】問題

小 論 文

(生物資源科学部 農林生産学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は1ページである。解答用紙は1枚、下書き用紙は1枚である。指示があってから確認し、解答用紙、下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

問

以下の図表にみられるように、農林業経営体数の減少が続く一方で、法人化や経営規模の拡大が進展している。しかし、栽培条件や生育条件が異なる農林地が分散して立地しているため、効率的な農林業生産を行うことが難しく、経営的、労力的な負担が大きくなっている。このような条件のもとで、中国・四国地域では、ICT（情報通信技術）を活用し農作業・農業経営をデータ化して「見える化」することにより、的確な作業管理や指示、あるいは効率的な農作業を行い、農林業経営の効率化が可能となると考えられる。そこで、農林水産省は担い手はその意欲と能力を存分に発揮できる環境を創出していくためには、先端的技術を活用し、省力化・軽労化や精密化・情報化などの革新を図っていくことが重要であると提言している。（出典：平成28年度 中国四国食料・農業・農村情勢報告から抜粋・一部改変）

そこで、今後の農林業経営革新のためにどのような取り組みをすればよいのか、以下の用語を少なくとも1つ用いてあなたの考えを述べなさい。（字数制限なし）

- ・ ロボット技術
- ・ ビッグデータ
- ・ 人工知能
- ・ IoT（モノのインターネット）

表1 農林業経営体数(全国)

単位:千経営体			
区分	農林業経営体	農業経営体	林業経営体
平成17年	2,085	2,009	200
22	1,727	1,679	140
27	1,404	1,377	87
増減率(%)			
平成22年/17年	△ 17.2	△ 16.4	△ 30.0
平成27年/22年	△ 18.7	△ 18.0	△ 37.7

表2 農業経営体数(全国)

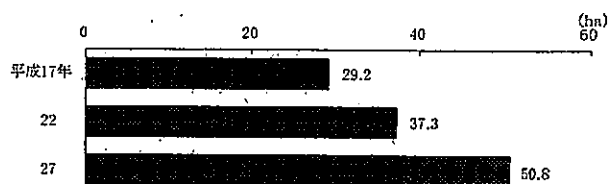
単位:千経営体						
区分	農業経営体		家族経営体		組織経営体	
		法人経営		法人経営		法人経営
平成17年	2,009	19	1,981	5	28	14
22	1,679	22	1,648	5	31	17
27	1,377	27	1,344	4	33	23
増減率(%)						
平成22年/17年	△ 16.4	13.0	△ 16.8	△ 13.5	10.4	23.1
平成27年/22年	△ 18.0	25.3	△ 18.4	△ 5.2	6.4	33.4

注： 農業経営体とは、経営耕地面積 30 a 若しくは農産物販売金額 50 万円相当以上の規模の農業経営を行うもの又は農作業受託を行うものである。

表3 農業経営体当たりの経営耕地面積

単位:ha			
区分	全国	北海道	都府県
平成17年	1.9	20.1	1.4
22	2.2	23.5	1.6
27	2.5	26.5	1.8

図1 林業経営体当たりの保有山林面積



(出典：農林業センサス 2015 年農林業センサス報告書 第2巻 農林業経営体調査報告書 一総括編一から抜粋)